

「モンゴルの遊牧文化」ユネスコ無形文化遺産登録記念

「ゲルと草原の物語—絵本原画と生活道具—」開催のお知らせ

絵本を読み解きながらモンゴルの遊牧生活や歴史を紹介します



モンゴルといえば、小学校2年生の国語の教科書で学ぶモンゴル民話「スーホの白い馬」やモンゴル人相撲力士の活躍で、多くの人々がモンゴルに親しみと関心をいただいています。家畜とともに暮らし、自然に適応した伝統的な生活はSDGsの観点からも優れた生活様式と言われています。しかし、遊牧民がどのような暮らしをしているのかはあまり知られていません。

2024年12月にモンゴルの遊牧文化がユネスコの無形文化遺産に登録されました。本展では、日本で活躍するモンゴル人絵本作家バーサンスレン・ボロルマー氏とイチンノロブ・ガンバートル氏による絵本作品『ぼくのうちはゲル』と『モンゴル大草原800年』とともに、そこに描かれているさまざまな生活道具を展示して、モンゴルの遊牧生活とチンギス・ハンの時代から現代に至るまでの歴史を紹介します。

バーサンスレン・ボロルマー（絵・右）

イチンノロブ・ガンバートル（文・左）

モンゴル文化芸術大学美術学部卒業。2008年に来日し、文教大学で絵本を学ぶ。共同で絵本を創作、海外でも多数翻訳されている。「空と馬と七人のきょうだい」「イヌワシつかいのエルジャン」（以上、あかつき教育図書）、「バートルのころのはな」（小学館）など。



【基本情報】

会 期：2025年4月26日（土）～7月6日（日）

開館時間：9：30～17：00 券売は閉館30分前まで。

休館日：毎週月曜日 ＊5月5日（月・祝）、6月2日（月）は開館。5月7日（水）、6月3日（火）は休館。

観覧料：一般 800円、小・中学生及び横浜市内在住65歳以上 400円

主 催：横浜ユーラシア文化館（公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団）

共 催：横浜市教育委員会

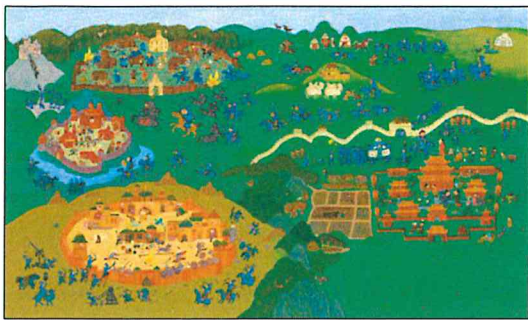
特別協力：バーサンスレン・ボロルマー、イチンノロブ・ガンバートル、国立民族学博物館

協 力：公益社団法人日本モンゴル協会、石風社、福音館書店

後 援：駐日モンゴル大使館、朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、FMヨコハマ、NHK横浜放送局、t v k

【主な展示資料と見どころ】

①絵本『モンゴル大草原 800 年』『トヤのひっこし』色彩豊かな原画約 20 点を公開。



『モンゴル大草原 800 年』

(ガンバートル 文 ボロルマー 絵 津田紀子 訳／福音館書店) より

日本で絵本作家として活躍するボロルマーさんとガンバートルさん。ボロルマーさんが絵、ガンバートルさんが文章を担当して二人で絵本創作を行っています。特に『モンゴル大草原 800 年』は 6 年の歳月を費やして制作された絵本です。色鮮やかで緻密な描写、絵巻物のような構図を是非ご覧ください。

②モンゴルの遊牧生活と 800 年の歴史を絵本と生活道具で読み解きます。

遊牧民は家畜とともに移動し、衣食住すべてにおいて家畜に依存して暮らしています。遊牧民の暮らしを様々な生活道具から紹介します。



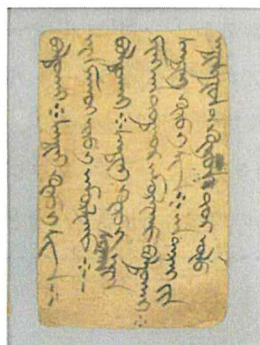
嗅ぎ煙草入れ 国立民族学博物館蔵
モンゴルでは客人を迎えるために嗅ぎ煙草を使った挨拶の仕方があります。



牛糞籠 国立民族学博物館蔵
乾燥した牛糞は燃料になります。



鉄製胃
東京大学総合研究博物館所蔵



チンギス・ハンから現代までの 800 年の歴史を紹介しつつ、その時代を象徴する資料を展示します。

モンゴル全土にチベット仏教が普及した
16 世紀のモンゴル語仏典
当館所蔵

③「モンゴルのブリュエール」シャラヴの絵画作品を展示



シャラヴは、モンゴルが社会主義国家になる前の遊牧民の暮らしを絵に残しました。緻密な、そして風刺の効いた描写から「モンゴルのブリュエール」と称されます。ボロルマーさんもシャラヴの画風に影響された現代の画家の一人です。

馬乳酒のまつり（模写）

B. シャラヴ (1869-1939) 作 1910 年代 国立民族学博物館蔵
原資料はモンゴル国立ザナバザル記念美術館が所蔵

【関連企画のご紹介】

1 イベント「ゲルに集まれ！」 当館中庭にモンゴルの移動式住居ゲルが登場！

日 程：5月10日（土）

参加費：参無料

①ゲルの組立・解体

時 間：9：30～16：00

会 場：当館中庭

ゲル解説：窪田新一（日本モンゴル協会理事長）

②モンゴル絵本のおはなし会 事前申込

モンゴル語と日本語による読み聞かせ。モンゴル語はボロルマーさん、ガンバートルさんが行います。

時 間：14：00～（45分程度）

会 場：情文プラザ（横浜情報文化センター1階）

座 席：60席 ＊先着順

③モンゴルの民族衣装を着てみよう！

時 間：10：00～16：00

2 関連講座「現代のモンゴルを知る」 事前申込

あまり知られていない現代モンゴル遊牧民の姿や宗教についてお話しいただきます。

①「現代モンゴル遊牧民の生活世界にあるモノー利用をめぐる交渉術」

日 程：6月15日（日）

講 師：堀田あゆみ（立命館大学サステイナビリティ学研究センター客員研究員）

②「現代モンゴルにおける仏教実践と化身ラマ」

日 程：6月21日（土）

講 師：島村一平（国立民族学博物館教授）

会 場：横浜市開港記念会館（横浜市中区本町1丁目6番地） ①は1号室、②は6号室

時 間：14：00～（1時間30分程度）受付は13：30～

定 員：100人（事前申込） 参加費：各回800円

申込締切：①5月26日（月）、②6月2日（月）

3 トークイベント『『モンゴル大草原 800年』ができるまで』 事前申込

ボロルマーさんとガンバートルさんから絵本の製作秘話とお二人が体験した遊牧生活や社会主義時代の生活についてお話をうかがいます。

日 時：5月11日（日）14：00～15：30（受付は13：30～）

会 場：横浜市開港記念会館9号室

参加費：1,000円 定 員：60名 ＊先着順

4 ギャラリートーク 担当学芸員が企画展の見どころを解説します。

日 時：5月15日（木）、6月2日（月）、7日（土）、22日（日）、26日（木）、7月5日（土）

各日14：00 ～ ＊各回30分程度

参加費：無料（企画展観覧券が必要） ＊直接会場へお越しください。

5 ワークショップ「モンゴルの民族衣装を着てみよう！」

日 時：4月26日（土）、27日（日）、29日（火・祝）、5月3日（土）、4日（日）、10日（土）、11日（日）、17日（土） 各日 10：00～16：00

＊予定の変更および6月、7月の開催日につきましては当館ホームページでご確認ください。

6 ^{さねかたたくし} 實方剛 写真展「モンゴルの野生動物と遊牧民の暮らし」

獣医師の視点からモンゴルの野生動物と遊牧民の暮らしを撮影。

日 時：展示会期中

会 場：1階ギャラリー、旧第1玄関 観覧料：無料

申込方法

申込方法：①氏名（フリガナ）、②住所、③電話番号、④イベント名を明記の上、当館ホームページまたは往復ハガキでお申込みください。

申込先 <http://www.eurasia.city.yokohama.jp/exhibitions/>

〒231-0021 横浜市中区日本大通 12 横浜ユーラシア文化館「展示関連イベント」係

【プレス向け内覧会のご案内】

日 時：2025年4月25日（金）11:00～13:00（受付 10：30～）

※申し込み方法等は後日お知らせいたします。

お問い合わせ	
横浜ユーラシア文化館：副館長：伊藤 泉美	展示担当学芸員：竹田 多麻子 広報担当：亀岡 博子
TEL:045-663-2424	HP: http://www.eurasia.city.yokohama.jp/exhibitions/

横浜ユーラシア文化館令和7年度企画展

「モンゴルの遊牧文化」ユネスコ無形文化遺産登録記念

ゲルと 草原の 物語

絵本原画と生活道具

Special Exhibition
Tales of Mongolian Ger and
Grasslands: Picture Books and
Tools of Daily Life

2025.4.26^土—7.6^日

開館時間 9:30—17:00

*券売は閉館30分前まで。

9:30—17:00 (Last Admission 30 minutes before closing)

休館日 毎週月曜日

*ただし、5月5日(月・祝)、6月2日(月)は開館。5月7日(水)、6月3日(火)は休館。
Closed on Mondays (except 5 May, 2 June), 7 May, and 3 June.

観覧料 一般 800円

小・中学生及び横浜市内在住65歳以上 400円

Admission: ¥800 for adults; ¥400 for primary and junior high school students, and city residents 65 years old and above

*5月24日(土)、25日(日)はハマフェスY166、6月2日(月)は
横浜開港記念日のため観覧無料。

- 本企画展の観覧券で2階常設展示室、4階横浜都市発展記念館もご覧いただけます。
- 毎週土曜日は小学生・中学生・高校生は無料です。
- 「身体障害者手帳」などをお持ちの方は無料です。入館の際に手帳をご提示ください。

『モンゴル大草原800年』
(福音館書店)より

横浜ユーラシア文化館
Yokohama Museum of EurAsian Culture

主催：横浜ユーラシア文化館(公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団)

共催：横浜市教育委員会 / 特別協力：パーサンスレン・ボロルマー、イチンノロブ・ガンバートル、国立民族学博物館

協力：公益社団法人日本モンゴル協会、石風社、福音館書店

後援：駐日モンゴル国大使館、朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局

毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、FMヨコハマ、NHK横浜放送局、TBS

【展示構成】

- I——『ぼくのうちはゲル』——草原の遊牧生活
II——『モンゴル大草原800年』——モンゴルの歴史
III——描かれたモンゴルの遊牧生活

【関連企画】

【1】関連講座「現代のモンゴルを知る」事前申込

【第1回】6月15日(日)

「現代モンゴル遊牧民の生活世界にあるモノ——利用をめぐる交渉術」

【講師】堀田あゆみ[立命館大学サステナビリティ学研究センター客員研究員]

【会場】横浜市開港記念会館1号室

【第2回】6月21日(土)

「現代モンゴルにおける仏教実践と化身ラマ」

【講師】島村一平[国立民族学博物館教授]

【会場】横浜市開港記念会館6号室

【時間】14:00～(1時間30分程度) *受付は13:30～

【参加費】各回800円 / 定員:100名

*時間・参加費は第1回、第2回共通

*申込締切【第1回】5月26日(月)、【第2回】6月2日(月)

*応募多数の場合は抽選

16世紀のモンゴル語仏典
(オロンスム文書) / 当館蔵



女性用上衣



「馬乳酒のまつり」
(模写)
シャラブ作

*当館所蔵資料以外は全て国立民族学博物館所蔵
*「至元通宝鈔」(書道博物館所蔵)の展示は
4月26日(土)から6月1日(日)まで。



現在のモンゴルでは都市開発の進む首都のウランバートルで暮らすモンゴル人が増え、遊牧生活を営む家族は少なくなっていますが、家畜とともに暮らし、自然に適応した伝統的な生活はSDGsの観点からも優れた生活様式と言われています。

日本においては、小学校2年生の国語の教科書で学ぶモンゴル民話「スーホの白い馬」やモンゴル人相撲力士の活躍で多くの人々がモンゴルに親しみと関心をいだいています。

本展では、日本で活躍するモンゴル人絵本作家バーサンスレン・ボロルマー氏とイチンノロブ・ガンバートル氏による絵本原画『トヤのひっこし』と『モンゴル大草原800年』とともに、そこに描かれているさまざまな生活道具を展示してモンゴルの遊牧生活とチンギス・ハーンの時代から現代に至るまでの歴史を紹介します。

2024年12月にモンゴルの遊牧文化がユネスコの無形文化遺産に登録されました。この機会に絵を読み解きながら草原に暮らす遊牧民の伝統的な暮らしと歴史に目を向けていただければ幸いです。

横浜ユーラシア文化館 Yokohama Museum of EurAsian Cultures

〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通12

Tel. 045-663-2424 Fax. 045-663-2453

12 Nihon-odori, Naka-ku, Yokohama, Japan 231-0021

<http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>



【アクセス】

- みなとみらい線「日本大通り駅」
3番出口から徒歩0分
- JR「関内駅」南口・市営地下鉄「関内駅」
1番出口から徒歩約10分
- 市営バス「日本大通り駅南口」
下車徒歩1分



嗅ぎ煙草入れ

【2】トークイベント『モンゴル大草原800年』ができるまで 事前申込

ボロルマーさんとガンバートルさんから絵本の製作秘話と、ご自身が幼い時に体験した遊牧生活や社会主義時代の生活についてお話をうかがいます。

【日時】5月11日(日)14:00～15:30

【会場】横浜市開港記念会館9号室

【参加費】1,000円 / 定員:60名 *先着順

【3】ギャラリートーク

【日時】5月15日(木)、6月2日(月)、7日(土)、22日(日)、26日(木)、7月5日(土)

【時間】14:00～ *各回30分程度

【参加費】無料(企画展観覧券が必要)

【4】ワークショップ「モンゴルの民族衣装を着てみよう！」

4月26日(土)、27日(日)、29日(火・祝)

5月3日(土)、4日(日)、10日(土)、11日(日)、17日(土)

【時間】10:00～16:00

*予定の変更および6月、7月の開催日につきましては
当館ホームページでご確認ください。

【関連展示】

実方剛写真展「モンゴルの野生動物と遊牧民の暮らし」

【会場】1階ギャラリー、旧第1玄関 観覧料 無料

【協力】(公財)横浜市緑の協会 よこはま動物園ズーラシア



乳茶入れ



馬乳酒用革袋

【イベント】5.10(土)「ゲルに集まれ！」

【1】ゲルの組立・解体

【時間】9:30～16:00

当館中庭にモンゴルの移動式住居ゲルが登場します。

【ゲル解説】窪田新一[公益社団法人日本モンゴル協会理事]

【会場】当館中庭

【協力】公益社団法人日本モンゴル協会

【2】モンゴル絵本のおはなし会 事前申込

【時間】14:00～(45分程度)

モンゴル語と日本語による読み聞かせ。モンゴル語はボロルマーさん、ガンバートルさんが行います。

【読み手】こたりの会、中国書館

【会場】情文プラザ(横浜情報文化センター 1階)

【座席】60席 *先着順

【協力】横浜市中国書館

【3】モンゴルの民族衣装を着てみよう！

【時間】10:00～16:00



参加費
無料



バーサンスレン・ボロルマー(右)
イチンノロブ・ガンバートル(左)

モンゴル文化芸術大学美術学部卒業。
2008年に来日し、文教大学で絵本を学ぶ。
共同で絵本や紙芝居を創作、海外でも多数翻訳されている。作品に「パートルのこころのはな」(小学館)、「イヌワシつかいのエルジャン」(あかつき教育図書)など。「トヤのひっこし」(福音館書店)は厚生労働省社会保障審議会の特別推薦児童福祉文化財に選出。

■申込方法 ①氏名(フリガナ)、②住所、③電話番号、④講座、イベント名を明記の上、当館HPまたは往復ハガキ(締切日必着)でお申込みください。

■申込先 <http://www.eurasia.city.yokohama.jp/exhibitions>

〒231-0021 横浜市中区日本大通12 横浜ユーラシア文化館「展示関連イベント」係
*1申込につき2名様まで。同伴者のお名前(フリガナ)もお書きください。

*抽選の場合、EAハマ発カード会員の方は優先的に申込を受け付けます。
会員番号をご記入ください。

